

人間の安全保障学会 第6回研究大会
開催校企画 公開シンポジウム

ヒューマニズムの世紀へ

— 人間の安全保障の追求と核廃絶の取り組み —

【日 時】 2016年12月11日（日） 14:30～17:30

【会 場】 創価大学グローバル・スクエア AB103

【主 催】 人間の安全保障学会第6回研究大会実行委員会

【共 催】 創価大学平和問題研究所 戸田記念国際平和研究所

【ねらい】

核兵器は安全保障上の理由から必要であるといわれる。しかしその安全保障の内容は、必ずしも一義的ではない。たとえば、「人間の安全保障」という観点からは、核兵器はむしろ脅威であると捉える議論もある。いわゆる核兵器の非人道性をめぐる議論であるが、そこから核兵器の廃絶の第一歩として法的に禁止すべきだとの声も高まっている。

本シンポジウムでは、安全保障に資するとされる核兵器が実際にいかなる兵器であるかを明らかにし、その脅威を解消していくためにいかなる方途を取るべきかに関する知見を深める。

- ①核兵器が人間の安全保障上の脅威、すなわち、「人間の生にとってかけがえのない中枢部分」（生存、生活、尊厳）を脅かすものであるという観点から、核兵器を廃絶すべきとする理由を論じる。
- ②核兵器を廃絶する具体的な手段として核兵器条約による法的規制の意義と課題を論じる。

【タイムテーブル】

I. 主催者挨拶

玉井秀樹教授（創価大学平和問題研究所所長）

II. 基調講演

「核兵器のない世界をめざして：核兵器の非人道性とその克服」

講演者 朝長万左男博士（長崎原爆病院名誉院長）

III. パネリスト報告

①「核兵器禁止条約交渉：将来の締結も念頭において」

報告者 福井康人准教授 広島市立大学平和研究所

②「核廃絶に向けて、軍縮不拡散教育の重要性」

報告者 土岐雅子女史 ジェームズ・マーティン不拡散研究センター

IV. パネル・ディスカッション（60分）

司会：石井秀明教授（創価大学平和問題研究所）